

Vol.19(2021) No.13(06/24)L11

COVID-19 ワクチン接種後のノルウェーの医療従事者における血小板減少症の有症率および抗 PF4/ポリアニオン抗体保有率の特定を目的とした観察研究(短報)

[An observational study to identify the prevalence of thrombocytopenia and anti-PF4/polyanion antibodies in Norwegian health care workers after COVID-19 vaccination \(BRIEF REPORT\)](#)

Sørvoll IH, Horvei KD, Ernsten SL, et al.

[J Thromb Haemost. 2021 Apr 28]-peer reviewed(査読済み)

(抜粋・要約)

◇参加者, 方法

AZD1222の初回接種を受けてから間もない医療従事者492人をノルウェーの病院2施設で募集した。研究参加者は、血小板減少症の有無、および抗PF4/ポリアニオン抗体の有無(PF4/PVS IgG ELISA法で測定)についてスクリーニングを受けた。ワクチン接種後の副反応が登録された。

◇結果

大多数の参加者では血小板数は正常であり、ELISA法による検査結果は陰性であった。血小板活性化作用のない抗PF4/ポリアニオン抗体($OD \geq 0.4$, 範囲[0.58~1.16])は6人のみで検出されたが、いずれも血小板数は正常であった。重篤な血小板減少症を呈した参加者はいなかった。

◇結論

AZD1222 によるワクチン接種後のノルウェーの医療従事者において、血小板減少症の有症率と PF4/ポリアニオン複合体に対する抗体の保有率は、いずれも低いことが判明した。